

# 桃の生産地 加納岩果実農協から春の便り

生産の 9 割以上を京都市中央卸売市場第一市場へ出荷していただく山梨県に加納岩果実農業協同組合様は、京都の施設へ 春の「桃の花」と、夏の「桃」の寄贈を続けておられます。

昨年は寄贈 30 年の節目を迎え、永年のご厚意に対し京都市長から感謝状が贈られました。

31 年目の今年も、6 箇所の高齢者福祉施設と保育園に、ピンクの蕾がいっぱいついた桃の枝 1 千束を届けられました。



## 高齢者福祉施設 紫野

「山梨はまだ寒いです」と挨拶をされる三澤組合長様。

剪定した桃の枝を、23 軒の生産者の皆さんが手分けして切り揃え、束にしていかれます。

本来、桜より後に咲く桃。受納式頃から咲き始めるようにビニールハウスで加温調整されます。

手間を掛けてご準備頂いた桃の花は、施設の中で春の訪れを感じられると大変喜ばれています。

## おおやけこども園

「夏には桃の実を届けるので楽しみにしてね」と、園児に桃の花を手渡されました。

桃の枝は各自持ち帰り、家庭で飾ってもらいます。

「桃の花を見る機会はあまりないと思うのでお家の方と楽しんでもらいたい」と組合長。

開花の季節、一面ピンク色に染まる生産地は、桃源郷さながらの美しさだそうです。



(受納式) 平成 29 年 3 月 23 日 (木)

(ご出席) 加納岩果実農業協同組合 代表理事組合長 三澤 孝昭 様  
広報部長 岩間 安仁 様  
組合員 小野 晃良 様  
販売指導統括部長 広瀬 明男 様